

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部

Mail Magazine【建築研究本部かわらばん】VOL.110 2018/9/18

このメールマガジンは、北海道立総合研究機構（道総研どうそうけん）建築研究本部が、日頃の調査研究、普及業務などで携わっているニュースを中心に、毎月お送りしているものです。

この度の平成30年北海道胆振東部地震により被害に遭われたみなさまへ、心よりお見舞い申し上げます。

斜面崩壊、液状化・地盤沈下などが同時に発生したこの地震からほぼ二週間が経過しました。

昨日未明の地震など、まだ余震は続いており、特に北海道胆振地方、石狩地方にお住いの方は、気の休まらない日々が続いているかと思えます。

多くの人命、建築物、産業に被害をもたらしたこの地震の建築物への被害状況は、日を追うほど増加し、その被害の把握は今も続いておりますが、最新の被害状況は以下の通りとなっております。

▼道庁総務部危機対策課HP

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/300906jisin/top.htm>

道総研建築研究本部では、発災以降、北海道庁、被災自治体、建築研究所・国総研等と連携しながら、液状化や地震による建築物被害状況把握のため、被害の大きかったエリアの初動調査や胆振三町への被災建築物応急危険度判定士の派遣などを行ってまいりました。

▼「平成30年北海道胆振東部地震」への建築研究本部の初動対応について

<http://www.hro.or.jp/list/building/koho/press1/180906.html>

被災各地はようやく復旧の途についたばかりです。

再び安心・安全な日常、暮らしが戻る日が来るまで、当研究本部としては、様々な方々と連携させていただきながら、復旧・復興支援活動、そして北海道の地域・建築防災力の向上に取り組んでいきたいと考えておりますので、これまでも増してご指導、ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

末尾になりましたが、発災直後から、全国から数多くのあたたかなメッセージをいただきました。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

平成30年9月18日

道総研 建築研究本部長 鈴木大隆

今月号のトピックス

■建築性能試験センターより

□研究紹介「異形柱に関連する諸研究」

■お知らせ

□平成31年度に採用する研究職員を募集しています（10/19×切）

□11/6（火）～8（木）『道総研「まちづくり塾」2018』を開催します

□『きて★みて★はっけん!!道総研建築研究本部☆公開デー2018』を開催しました

※今月号の「北方建築総合研究所より」は、都合により休載します。

■建築性能試験センターより

□研究紹介「異形柱に関連する諸研究」（H26～H28およびH29～H31 経常研究）
安全性能部 評価試験課 本間

今回ご紹介する「異形柱に関連する諸研究」につきましては、建築性能試験センターで実施している構造計算適合性判定業務の中にその研究シーズを見出した一連の研究です。

中高層の鉄筋コンクリート造建物（例えば共同住宅など）では、日影規制などにより、建築物の一角を切り落としたような外形になる場合がしばしばあります。このような形状においては柱断面そのものが台形や五角形などの形状になる場合が多く、調査を行った7年間では町さ建築物の約13%弱程度で確認されました。

平成26年度からの3カ年の研究で、曲げ耐力に関する試験を14体で実施した結果、設計法として慣用的に用いられている、「等断面積な長方形断面への置換」の手法が耐力的には安全側での評価となるとの知見が得られました。一方で尖端部分ではかぶりコンクリート部分での圧壊や脱落、圧縮鉄筋のはらみ出しといった現象が確認されました。

平成29年度からは曲げ耐力に加えて、せん断耐力に関する研究を開始しており、現在までに4体の台形断面の柱に対する加力試験を実施しております。せん断終局耐力（慣用法として曲げ耐力と同様に「等断面積な長方形断面への置換」として計算した数値）に至る前に付着割裂破壊が進行したため、本年度からは主として配筋形状のバリエーションを増やし、さらに五角形部材の加力試験を実施していく予定です。

ご興味のある方は、ぜひ研究紹介資料や報告書をご覧ください。

▼研究紹介資料

<http://www.hro.or.jp/list/building/pdf/28gaiyo/377p.pdf>

▼報告書

http://www.hro.or.jp/list/building/result_pdf/H28h/377.pdf

▽8月の構造計算適合性判定業務の実績

受付 8件（9棟）

結果通知 11件（15棟）

8月の判定依頼は、共同住宅が3件のほか、病院、学校、店舗、倉庫、一戸建て住宅が各1件でした。

▼建築性能試験センター

<http://www.hro.or.jp/list/building/bptc/>

■お知らせ

平成31年度に採用する研究職員を募集しています

道総研では平成31年度に採用する研究職員を募集中です。
建築研究本部では「建築・都市工学」の分野で1名を採用予定です。なお、本募集に限り、年齢要件を「昭和49年4月2日以降に生まれた者」（45歳未満）と拡大しています。
ご関心のある方は、ぜひ、建築研究本部又は道総研法人本部までお問い合わせ下さい。

- 申込受付期間 平成30年10月19日（金）〈消印有効〉
- 第1次試験日 平成30年11月4日（日）
- 第2次試験日 平成30年12月2日（日）
- 試験地 札幌市

お問合せ先 建築研究本部（旭川）0166-66-4211
北海道立総合研究機構 法人本部（札幌）011-747-0055

▼詳しい募集要項はこちらからご覧になれます。

<http://www.hro.or.jp/hro/recruit/recruit/kenkyu.html>

■お知らせ

11/6（火）～8（木）『道総研「まちづくり塾」2018』を開催します

昨年度から開催している「道総研まちづくり塾」は、市町村職員の方々に、わがまちを客観的・科学的に見つめ、まちづくりの戦略を自ら考えていただく機会です。

普段の業務とは異なる視点から専門的講義を受け、客観的にデータを分析し、自らの自治体の強みや課題を理解した上で、50年後の将来像や課題解決策を考えます。
その一連の流れの中から、日常業務の先にある将来像も視野に入れ考えることを身につけ、まちづくりに反映していただきたいと考えています。

少数精鋭でまちづくりをじっくり議論する3日間です。ご関心のある市町村職員の方は、建築研究本部企画課までお問合せください。（今月中には、ホームページでもご案内いたします。）

日 時： 平成30年11月6日（火）～8日（木）

場 所： 建築研究本部

対 象： 道内市町村職員2名1組で4市町村
ページ(3)

■お知らせ

□『きて★みて★はっけん!!道総研建築研究本部☆公開デー2018』を開催しました

今年の公開デーは、9月1日（土）に開催しました。

毎年恒例のコーナーに加え、新たに「お家のデザイン体験コーナー」「地震でこわれた建物を判定しよう!」「防災放送の聞こえ方クイズ」を実施、また初公開となる大型振動台を使用した構造強さ実験を行ったほか、旭川市との共催企画「消防体験で君も消防士?」、建築士会旭川支部との共催企画「楽しく学んで防災博士になろう」、十勝岳ジオパーク推進協議会ほかとの共催企画「十勝岳コーナー」など、14の体験・工作・展示ブースで賑わいました。おおむね天候にも恵まれ、460名の方にご参加いただきました。

来場者の皆様、ご協力いただいた各機関・団体の方々に厚くお礼申し上げますとともに、これからも建築研究本部の調査研究、試験評価などの取組をより広く知っていただけるよう普及につとめてまいります。

▼当日の様子はこちらからご覧いただけます。

<http://www.hro.or.jp/list/building/koho/event/index.html>

=====
管理者からのお知らせ
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。
登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。
メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n
変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

発行：(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部
<http://www.hro.or.jp/list/building/>